

汐風を食べてみませんか。

山の恵みが汐風とともに、海の恵みとなつてやってきました

観光地域づくり講演会「きらめく地域力」～観光がもたらすまちの元気～

いよいよ夏シーズンの到来です！今年も海水浴場をはじめ大勢のお客さんと町が賑わうことと思います。

さて、仙台・宮城デスティネーションキャンペーンをきっかけに、各地で「観光地域づくり」が盛り上がりを見せており、南三陸町でも地域のネットワークを活かした様々な取り組みが行われています。

今回の講演会では、観光地域づくりの第一人者である北海道大学観光学高等研究センターの石森秀三教授をお迎えし、観光を通じた取り組みの将来性やそこから培った資源をどう活かすかなど、皆さんの声を交えながら「観光による地域づくり」を一緒に考えたいと思います。観光は地域に住む一人ひとりが主役です！ぜひご参加ください。

◆日時 7月17日(土) 午後3時開会

◆場所 歌津公民館1階

◆参加費 無料

◆申し込み 参加を希望する方は、役場または観光協会（街なか交流館内）に備え付けの申込用紙で7月9日(金)まで産業振興課観光振興係に申し込みください。

※講演会終了後、東北地域環境研究室代表の志賀秀一さんとのトークセッションを予定しています。



志津川湾をシーカヤックで旅してみませんか？

「恵み体感！海原散歩」

波が穏やかな志津川湾は、初心者でも気軽にシーカヤックを楽しむことができます。ご家族、グループで海を満喫してみませんか！

※7月は期間限定モニター価格でご参加頂けます。

◆シーカヤックツアー催行日

7月2日、3日、4日、9日、10日、11日、16日、18日、19日

※参加希望日の3日前まで申し込みください。(申し込みは2名から)

◆所要時間 3時間程度

◆料金 大人：3,000円、子ども：2,000円

※料金には、カヤック・ライフジャケット・パドルのレンタル料・保険料・ガイド料が含まれます。

◆申し込み・問い合わせ 南三陸時間旅行サポートセンター ☎47-2550



クリネックススタジアム宮城「食材王国みやぎ～南三陸町物産展～」開催！

南三陸町自慢の食材が、クリネックススタジアム宮城に登場します！当日は、タコ・ホタテ・ホヤ・ウニなどの海産物が味わえるほか、町の観光PRやミニイベントなどで物産展を盛り上げます。球場へお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

◆開催日 7月17日(土)～18日(日) 北海道日本ハムファイターズ戦(デーゲーム)

庄内の風⁴⁶

友好町の山形県庄内町を紹介する情報コーナー

Vega月山30 (ベガガッサンサーティ)

Vega月山は、今回で30回目の開催を迎えるモーターレース・イベントです。全国から大勢のライダーたちが庄内町の立谷沢地区に集まり、50ccの耐久レースや2時間と4時間エンデューロレースが繰り広げられます。

初日の7月31日(土)には、子どもからベテランまで一緒に楽しめる特設コースで、自転車オフロードレースと50ccバイクのレースが行われます。また、2日目の8月1日(日)には、山や川、ガレ場などを組み合わせた1周13～15キロメートルの特設コースで、2時間と4時間のエンデューロレースが行われます。前夜祭は、キャンプで焼き



自転車オフロードレース

肉パーティーとなり、友人や家族そろって楽しい時間を過ごしています。他のレースとは違い、お祭り気分に参加できるイベントですので、ぜひご家族お仲間とお越しくください。

◇期日 前夜祭：7月31日(土)、本戦：8月1日(日)

◇場所 南部山村広場周辺(山形県庄内町立立谷沢字瀬瀬)



エンデューロレース



50cc耐久レース

◇問い合わせ

ベガ月山実行委員会(サイクルショップマルヤマ)

☎0234-56-2604

光陰矢の如し。今年も半年が過ぎた。毎年毎年、過ぎ行く年月の早さを感じる。そして、改めて、よくぞここまで歌の仕事を続けてこられたものだと、家族をはじめ、支えて下さった方々に感謝せずにはいられない。

昨年は、文化庁「本物の舞台芸術体験事業」で、我が母校である志津川中学校でのオペラ公演(カルメン)が実現した。感無量。私の座右の銘である「継続は力なり」が引き起こした奇跡とも言える出来事であった。

これまで数々の歌の仕事をしてきたが、どの職業もそうであるように、いつも体のコンディションとの戦いである。体が楽器である歌手は、常に

喉(声帯)と体の状態をベストに保つことを肝に命じてはいるが、そこは人間。いつも最高というわけにはいかない。どんなに気をつけても、風邪を引くこともあれば、体調がすぐれないままに舞台を務めなければならぬこともある。しかし、多くの舞台経験の中で、決してベストとはいえない中でも、それをカバーしながら歌うというテクニクもある」と、恩師や先輩たちから言われてきたこともある。それでも思うように声が出ず、歌えないときは、谷底に突き落とされたような恐怖と屈辱に苛まれる。今日このとき、聴いてくださっている方たちは、この大事な時間を私のた



夢大使 小島りち子さん(東京都)

夢大使 リレー通信⁴⁸

各地で活躍する南三陸町夢大使の皆さんの声をお届けする「夢大使リレー通信」を連載しています。今回は、オペラ歌手として活躍している小島りち子さんです。

生涯現役を思う

めに使ってください。だといつも自分に言い聞かせているが、それに十分に配慮することができなかったときは、実に情けない思いでいっぱいになる。

昨今は、そろそろ年齢との戦いにも入った。スポーツ選手と違い、歌手という職業は寿命は長い、年齢と共に筋力は確実に落ちてくる。鍛えなければ、喉の衰えは、あっという間にやってくる。

歌という職業と共にこれまで生きてきた私だが、その歌が、かけがえのない人たちとの出会いを作り出し、私を強く育て、成長させてくれたのだと、今、しみじみ思う。

そしてこれからも、新しい自分を見つけるために、歌い続ける。

